

北朝鮮の核実験に抗議し核兵器廃絶と恒久平和を求める決議

世界の恒久平和は、人類共通の願いであり、わが国は、世界で唯一の被爆国として、これまでも非核3原則を国是として核兵器廃絶を希求してきた。

本市においても昭和59年12月26日に「非核平和都市宣言」が決議され平和を求める意思が表明されている。

こうした中で、去る2月12日に北朝鮮が3回目の地下核実験を強行したことは、これまで繰り返し行われてきた安保理決議に明確に違反するとともに、日朝平壤宣言や平成17年の6者会合共同声明にも違反する断じて許されない暴挙である。国連安全保障理事会においては同日深夜に緊急会合を開き、北朝鮮を「過去3回の制裁決議に対する重大な違反」と強く非難している。

さらに、北朝鮮がミサイル技術の高度化を図っていることから、北朝鮮の核実験は、わが国及び北東アジアはもとより世界中の平和と安全に対する深刻な脅威となっている。

よって本市議会は、核兵器のない世界を目指し、世界の恒久平和を実現するため、北朝鮮の度重なる核実験に対して厳重に抗議する。また、わが国政府が米国、韓国をはじめ中国、ロシアと緊密に連携して国際世論を喚起し、安保理決議に基づく制裁措置が実効あるものになるよう努めるとともに、追加制裁を含め断固たる態度で臨み、国際社会と協調して外交的・平和的解決を図られるよう強く要請する。

以上、決議する。

平成25年3月26日

泉南市議会

採決結果

平成25年3月26日 原案否決